

- ・教室をめぐる動き (1)
- ・教員の研究活動 (2)
- ・1999年度教員在室時間割 (4)
- ・製本保存ぶん卒業論文主題(1998年度)一覧 (5)
- ・地理情報処理室および図書資料室の利用について (5)

教室をめぐる動き

この4月に次の人事発令がありました。

<非常勤講師の退任>

川合元彦先生 地理学(政法文・総合) 人文地理概説(史東・教職)
川上 誠先生 地理学(工,政Ⅱ・総合) 地誌学(政法・教職)

<非常勤講師の新任>

助重雄久先生 地理学(政法文・総合) 人文地理概説(史東・教職)
竹林和彦先生 地理学(工,政Ⅱ・総合) 地誌学(政法・教職)

清水靖夫先生 地図学 地図製作法

*清水先生は98年度後期(地図製作法)より

今年度の専攻主任・学年担任は以下の通りです。

専攻主任 野口泰生教授
1年 岡島 建助教授
2年 磯谷達宏講師
3年 内田順文助教授
4年 長谷川均助教授

1999年度地理学教室行事予定

5月22日 国士館地理学会	12月10日 卒論提出締切
5月28・29日 1年地理実習	12月11日 国士館地理学会
10月4・5日 2年地理実習	2月9・10・12日 卒論公開口頭試験
10月27～30日 3年地理実習	

教員の研究活動

長島 弘道 教授

論文：

首都圏における堆肥の生産と利用。国土館大学文学部人文学会紀要31号、pp. 55-67、1998. 10。

口頭発表：

Supply Systems of Organic Fertilizer in Tokyo Metropolitan Region, IGU持続可能な農業システム委員会シンポジウム, リスボン, 1998. 8. 23~29.

瀬戸 玲子 教授

論文：

藪塚台地の灌漑用水路と農業土地利用の変化。お茶の水地理39, 51-64, 1998.

紹介：

米国における大学の地理学：新しい概念のフレームワーク 35-3, p. 37, 1998, 日本国際地図学会。

野口 泰生 教授

その他：

①気温と降水量、②気温の年較差と気圧、風。 1999基本高等地図 教授資料、194-197、二宮書店

長谷川 均 助教授

学会発表：

「石垣島における造礁サンゴの広範な白化とその原因」

日本サンゴ礁学会白化問題緊急発表、東京大学 山上会館 98/11/1、

日本サンゴ礁学会一般シンポジウム 早稲田大学井深会館 98/11/3、

長谷川、目崎、市川、星野、小林による連名

執筆活動：

「サンゴ礁環境衛星地図の作成」平成9年度科学研究費補助金(基盤研究(c)(2))研究成果報告書、全39頁、1998

「第二回 白保サンゴ礁モニタリング調査報告書」、目崎・長谷川他、全19頁、石垣市、WWFJapan、1998

『リモートセンシングデータ解析の基礎 The ABCs OF RS』。138頁、古今書院、1998。

「琉球列島石垣島白保サンゴ礁でみられるマイクロアトールの特徴」。

長谷川均・長谷川明雄、国土館大学地理学報告、No. 7(1998)、1-24。1999年

「リモートセンシングをどう使うか」、社会科教育 No. 466、1998-12、35-37。

「造礁サンゴの白化」、地理・地図資料、1999. 5、帝国書院。

その他：

[雑誌「地理」書評欄]

・衛星画像で見る日本 1998/5

・環境を破壊する公共事業 1998/7

・地形分類図の読み方・作り方 1998/8

・清らかな水のためのサイエンス 1998/10

・よみがえる海辺 1998/12

・リモートセンシングナビゲータ ver. 1.0 1999/2

・航空写真データファイルCD-ROM首都圏版 1999/3

・森林GIS入門 1999/4

・写真で見る火山 1999/5

[新聞・雑誌・TV]

・朝日新聞 取材協力 1998-11/18 造礁サンゴの白化

・テレビ朝日 取材協力・出演 「ふしぎな宇宙船地球号」98/8/16

・琉球放送 取材協力・資料提供 98/8 造礁サンゴ白化のニュース番組

・DIVING WORLD, 1999/4 色を無くしたサンゴ礁 取材協力

・海と島の旅 1998/12 ケラマのサンゴ礁について知りたい 取材協力・資料提供

・日経ECO21 1999/5 サンゴが死ぬ本当の理由 取材協力・資料提供

・ 国士館大学新聞 410,411号 いまサンゴ礁でおきていること、執筆

学会活動：

日本地理学会 集會委員 日本サンゴ礁学会、監査、評議員

内田 順文 助教授

論文：

中部地方における都市のイメージについて—観光パンフレットを用いた場所イメージの定量的分析の試み—
国士館大学文学部人文学会紀要31号、121-134ページ。

その他：

文学・芸術と地理、 高校生の地理B 教授資料、 二宮書店

岡島 建 助教授

学会活動：

日本地理学会 広報渉外委員 歴史地理学会 編集委員
交通史研究会 常任委員

磯谷 達宏 講師

論文等：

森廣信子・磯谷達宏・島田和則・中 涼子・野上圭子. 雲取山北東斜面の落葉広葉樹林 (1) 森林構造の概要.
東京都高尾自然科学博物館報告, 第18号, 1-11. 1999年3月.

口頭発表：

小川みふゆ・磯谷達宏. 奥鬼怒地域の針広混交林と落葉広葉樹林における稚樹の動態と光環境. 第109回日本林学会大会. 1998年4月.

教員の研究室と電話番号

長島：1025研究室(4F)03-5481-5278 E-mail:nagasima@kokushikan.ac.jp

瀬戸：1002研究室(2F)03-5481-3245 (ただし、現在自宅療養中)

野口：1004研究室(2F)03-5481-3246 E-mail:noguchi@kokushikan.ac.jp

長谷川：1003研究室(2F)03-5481-5247 E-mail:hasegawa@kokushikan.ac.jp

[鶴川] 9号館4F情報科学センター

内田：1025研究室(4F)03-5481-5291 E-mail:uchida@kokushikan.ac.jp

岡島：[世田谷] 10号館2F教員コミュニティルーム

[鶴川] 12号館3F307研究室 0427-36-8130 E-mail:okajima@kokushikan.ac.jp

磯谷：[世田谷] 10号館2F教員コミュニティルーム

[鶴川] 12号館3F302研究室 0427-36-8125 E-mail:isogai@kokushikan.ac.jp

1999年度 教員在室時間割

【凡例】

Na: 長島 Se: 瀬戸 No: 野口 Ha: 長谷川 Uc: 内田 Ok: 岡島 Is: 磯谷 前: 前期のみ
 _____ : 講義中 _____ : 在室、 : 在室していることが多い、 後: 後期のみ

校舎		9:00-10:30	10:40-12:10	12:50-14:20	14:30-16:00	16:10-17:40
月	世田谷	Uc No _____				
	鶴川	Ha _____ Ok _____ Is 後 _____ 前 _____				
火	世田谷	Na _____ Ha _____				
	鶴川	Is No _____				
水	世田谷	Ha _____ Is _____				
	鶴川	Ok Uc Is _____				
木	世田谷	Ha _____ Ok _____ No _____				
	鶴川	Na _____ Is Is _____				
	多摩			Is _____		
金	世田谷※	No Ha _____				
	鶴川	Is Is _____				
土	世田	Uc _____				

※第3または第2金曜日は教室会議(12:00-)・教授会(13:00-)があり全員が世田谷に出校しています。

※上記時間以外の面会、相談などはAppointment によります。相談、質問などは教員の出勤中に済ませて下さい。教員の自宅、特に非常勤の先生宅への電話は極力ひかえて下さい。

※長谷川より：原則として、月・土以外は世田谷研究室にありますが、相談など時間のかかる面接等に関しては、事前にアポをとってからにして下さい。

製本保存ぶん卒業論文主題(1998年度)一覧

- ・3月に行われた全国地理学科卒業論文発表大会では、金子滋幸さんと星野知大さんが発表しました。
- ・1986年以降に審査された卒論のなかから、優秀なものや資料的価値の高い論文は製本され公開されています。年度別、分野別に製本された卒論は図書資料室で閲覧できます。98年度は、以下の論文が製本・保存されます。

番号	氏名	表 題	所属ゼミ
<自然>			
24	杉山 崇	静岡県蘆科川の木枯の森における植生	磯谷
26	金子 滋幸	ランドサットによる中国内モンゴル自治区奈曼(ナマン)周辺の砂漠化程度の評価	長谷川
28	坂本 繭子	千葉県における大気汚染の諸特性	野口
30	富田 裕美	千葉県における8月の海陸風について	野口
33	吉田 正光	三宅島北東斜面における噴火後の植物の侵入	磯谷
59	鶴田 倫子	支流の流域特性からみた山地河川の粒径変化とその要因-長野県北部・樹花川と土尻川を例に-	長谷川
75	星野 知大	スギ人工林の施業方法の違いが林床植生と土壌に与える影響について	磯谷
<人文>			
4	日沼奈々子	秋田県内におけるハタハタ食形態の差異について	内田
10	川本麻衣子	高層住宅の立地にもなう都市周辺部の変化について	内田
16	若井里江子	手描き地図による日本の大きさとかたち	内田
35	梅澤 朗	多摩ニュータウン地域住民の居住環境の変化について	岡島
36	秋本 直樹	千葉都市モノレールの利用状況と周辺地域への効果	岡島
49	石賀 俊哉	住工一致の零細工業における存立意義と衰退要因-東京都墨田区京島地区の金属加工業を事例に-	長島
52	櫻井 周郎	ロードサイド型店舗の立地特性について-相模原市・国道16号線と町田市・町田街道を事例に-	内田
57	筒井 直人	東京湾アクアラインの効果と課題	岡島
58	釘持 周平	鉄道競合区間における駅勢圏について-東京都品川区大井周辺を事例に-	内田
88	三品 雅孝	高齢者人口の地域的分布と福祉施設の立地状況等からの高齢化社会の考察	長島
89	大曾根宏昭	増加する農業法人の経営展開について-千葉県の農業法人を事例に-	長島
96	岡田 修一	J R南浦和駅と武蔵浦和駅周辺の地価変動と土地利用変化	岡島

地理情報処理室および図書資料室の利用について(重要:必ず読むこと)

1. 地理情報処理室および図書資料室は、原則として教員が在校中のみ開け、それ以外の時間は施錠されます。つまり、教員が大学に来ていないときには、中へ入れません。教員の在校時間については、このニューズレターの教員在室表に示したとおりで、世田谷に最低一人の教員が来ている時間帯は、これらの部屋に入れることとなります(ただし、2階に研究室のない教員(長島・内田・岡島・磯谷)しかいない場合は、つねに鍵が開いているとは限りませんから、その場合は教員に告げて鍵を開けてもらう必要があります)。これ以外の時間帯でも、教員が学内にいれば鍵を開けてもらえます。教員を捜して下さい。
2. 情報処理室および図書室は、学校荒らし・空き巣常習者などに狙われやすく、盗難のおそれがあるので、室内にモノを置いたまま外出しないようにして下さい。

研究室図書の見学および貸出方法

- ▼貸出は、「図書貸出簿」に書名・住所・氏名など必要事項を記入の後、必ず在室教員のチェックを受け、サインをもらって下さい。
- ▼返却も、「図書貸出簿」に返却日を記入し、必ず在室教員のチェックを受け、サインをもらって下さい。
- ▼貸し出し期限は2週間です。厳守して下さい。
- ▼研究室備品の地図・空中写真・製図道具等は、情報処理室内でのみ閲覧・利用して下さい。
- ▼利用する人は(教員も含めて)、見たり借りたりした本を必ずもとの位置に戻しておくようにして下さい。本の位置を変えないようにすることは、利用しやすい図書室であるために守るべきマナーです。
- ▼以上のきまりを守らず、無断で図書などを持ち出した者、貸し出し期限を守れない者には、相応の懲罰を課します。